

藤島地域小中学校整備検討委員会の附帯意見の質疑 子育て・文化協同の会事務局が見解を表明

加藤鉦一議員が12月議会一般質問で取り上げた「藤島地域小中学校整備検討委員会の附帯意見」の質疑について、「庄内地域づくりと子育て・文化協同の会」事務局が、見解を二ユースで取り上げていますので、転載します。（協同の会二ユースNO7 1月14日）

梓内の太字は、教育長答弁に対する協同の会事務局の見解です。

質問 従来は小学6年生から中学1年生への成長の飛躍があったものが、成長の機会はどう確保されるのか？

教育長 義務教育学校では、学年段階のブロックの節目で行事を行う等、様々な工夫を検討し、成長の機会は確保できる。

小学校の卒業式、中学校の入学式にあたるような行事等は確保されるのか？
性はなく、不明確だ。

質問 渡前や東栄の地域から学校がなくなれば、学校と地域の伝統行事の結びつきは弱くなるがどうか？

教育長 地域の伝統行事の継承も、学校運営協議会を通して、地域と相談しながら検討していくことになる。

一般的な進め方をのべているだけで、地域とのつながりをどうするかは回答にはなっていない。2地域の獅子踊りはどうなるのか不明である。

質問 小学校の教師は、小中一貫と幼児小の連携と、両方を把握しなければならぬ。幼児と小学校の接続はより難しくなるのではないか？

教育長 幼児期に身につけた力を土台とし、スムーズに学童期への移行ができるよう、丁寧に取り組んでいく。

当然の進め方を述べているだけで、現在も行われていることである。回答にはなっていない。

質問 現在の3小学校と1中学校が今、義務教育学校になった場合

の教職員数の比較はどうか？

教育長 現在の児童生徒数で義務教育学校となった場合は、通常学級が29学級から21学級へ、特別支援学級が7学級から4学級へ、合計36学級が25学級となる。学級数によって教職員数は決まるので、減ることになる。義務教育学校は1年生から9年生までの教職員が一つの校舎に集まり、児童・生徒を見る教職員はより多く、児童・生徒はより多くの大人とのかかわりを持つことができるようになる。

小・中がいつしよになれば教職員の「目」は増えることにはなるが、教職員ひとりに対応する子どもは増えることになる。「目が増える」という言い方はまともとは言えず、ふたけともこれ言い方だ。

質問 遠距離通学の負担は、学校統廃合と義務教育学校の最大のデメリットだ。バスの運転手不足や、小学生の生活圏と学校との距離感の違いの問題が大き

ふるさと替歌

鈴木重雄（八色木）

幼い頃の遊び唄

八色木の日向富さん

掲載させていただきま

は、大正・昭和初期の幼い頃の遊び唄を、冊子にまとめていた。ご連絡いただきました。貴重な記録なので、

わらべ歌

正月正月 ぞこまで来たばや
木切り山のこつちまで
みやげは なになに
にしど之ぶど かりいお
猫のまだのくし柿
じょっこさ くえどて ちだした
じょっこいらねどて ぶりなけた
となりのわっぱ みなくた

おらえの あねさま ぼだもちすまで
一つ おげどて たんぽさ 入れて
はねて おどたば たんぽから おぢだ
むげの赤わごちよと来て くらった

雀 雀 なして泣く
まーま くてどて 泣くどこた
まーま くてどて 田作れ
田作れば 泥 つぐ
泥 つげば 洗え
洗えば 流れる
流れれば よしの葉さ たもつげ

たもつげば 手切れる
手切れば 膏菓はれ
膏菓はれば へ(蠅)たがる
へたがれば あおげ
あおげば さんび(寒ッ)
さんびば あだれ(温まれ)
あだれば 毛やける
やければ 膏菓はれ

いが、どう解決するか？



(1面からつづき)

教育長 児童の居住地と学校との距離感なるべく感じさせないよう、スクールバスを増便してルートを設定するなど、長時間乗車とならない方法を検討する。

スクールバスに変わることで失われるものが多く、小学校は徒歩通学が最適だ。最近の人手不足問題にも全く触れていない。

質問 年齢の離れた児童・生徒間の安全面や、いじめ発生時の長期化、教員の負担増に対する不安の声に、どう対策を図るのか？

教育長 義務教育学校に関する情報や教育活動、児童・生徒の成長の姿など、丁寧に情報提供を行うことで、不安の解消に努める。

不安の声に対する対策を問っているのに、回答は「情報提供」しかない。学校が大きく変わることにへの対策、対応には全く触れていない。

質問 閉校後の旧校舎の利活用と、早期の小学校統合に対する見解はどうか？

教育長 地域の意見や要望を十分に聞きながら検討を進めていく。新校舎竣工前の小学校統合については、まず藤島地域の子育て世代をはじめ、地域の考え方を伺い、整理をしていく。

小中一貫校計画よりも、統合の問題をきちんと考えざるべきだったのではないかと、順序が逆になっている。地域での話し合いは少ないと思つて。

質問 答えはすべて、今後検討を進めながらということだ。教員不足が深刻だ。10月には高知県の教育委員会が、教員採用で合格通知を出した280人のうち、7割を超える204人が辞退した。NHKの調査でも、今年5月と9月の教員の不足状況

は、1・3倍に膨らんでいる。義務教育学校に、優秀な教職員を確保できるのか。北欧諸国は、10年前からデジタル教育を進め、問題が明らかになって、紙の教科書が復活し始めている。日本はこれからデジタル教育の本格実施だが、将来に責任を持った教育体制ができるのか？

教育長 教育委員会と現場の先生が、どこまで働き方改革を推進していけるのか。先生方がこれ以上減らないことを、県と文科省にお願いし、優秀な先生の確保に努めていく。

鶴岡市教育委員会で教員不足問題をどうとらえているのか、全く回答がない。心を病んで休職した先生の代わりに教頭などが担任を勤めている学校もある。デジタル教育を進めているが、それでいいのかも検討すべきだ。

東田川史跡物語 島野嘉作 福岡勸業試験場で学ぶ 青山 崇

明治20(1887)年11月、静岡県農事技師として招かれたが、同21年8月に10ヶ月ほどで辞任している。これは墓誌に「同年10月福岡県勸業試験場ニ奉職ス」とあり、それで辞任されたと思われる。

『墓誌』は続けて「勤

教授などという呼称はなかっただろうが、それと同等の学力だったと思う。

明治20年代から、農業改良研究は老農時代から、国・県に開設される試験場時代に移る。

福岡でいえば、老農林遠理から横井時敬への移行時代で、林の私塾も人が集まらなくなり閉校する。

島野もこの時代の流れの中で、来庄までのわずか数年ほどだが、横井からも学び、体系的な稲作研究に励んだ。



国土調査が必要

これは何年前かの畑での話だ。隣の畑の婆さんが言う。オメエの爺さん、この頃畑さ見えでねーが、と言うから、ンダ・今アツチェさげ涼しい所さ行ったもの、と言ったら、んだば婆さんは、と聞くから、婆様さわざ好きでねーもんださげ、家さいっただあ、と言っただ。これだけの話。

▲これにウソは無いないだが、ひと月も過ぎたらうか、畑でまた会ったんだ。そしたら、何言つてんなやオメエ。爺さん、入院しつたて言うけでねが、と大声でのお叱りだった。

▲この伝で行けば、今寒びさげ、俺あつたこい所さ行って来るのとなる。これをお読みの頃には、山形大学付属病院に入院・手術の予定。前日にホテルに泊まり翌日入院。しかし

勸業試験場の呼称は産業振興試験場が本来であつて、諸産業に徐々に分化し、農事、養蚕、工芸、工業、畜産などの試験場に分化していく。

福岡県勸業試験場は明治12(1879)年、那珂郡春吉村(現福岡市博多区東中洲)に設立され、同28(1895)年に福岡県立農事試験場と改称された。



その日のうちに帰っても良いと言われ、何病気を巡らしてくださいナ。

▲そして畑の話。隣の畑のお婆さん亡くなった後、知人が畑を作っていたが、それもやめたので、今では木が生えた。俺の畑に根っこが伸びてきて困っている。この地域・新旧藤島川に囲まれた場所、都市計画税を払っているんだよ。かつて藤の花公園になるって説明会があつたんだとか。

▲所有者は俺の知っている人で工藤・樫・古郡・越京・三川町の横内などもだ。そんな遠くの人達は年々来なくなり、草原になつていく。だから、所有権もどこまでなのか境が難しくなつていく状況だ。

▲それで国土調査を提案したい。新しい藤島川の買収で、残地が図面上はあるんだが、土がない・という話を聞いたことがある。これは急がないと。(石川)